

平成19年度実績の事業分野及び取組項目ごとの点検・評価の公表

栗原市病院経営評価委員会における、平成19年度実績の事業分野及び取組項目ごとの点検・評価（平成21年3月17日中間報告）は次のとおりです。

医療機能の充実

《事業分野評価》

委員会評価	一部達成	自己評価：一部達成
<p>○二次救急医療の充実を図るためには、医師（循環器科・脳外科）の招聘を図り、更に開放型病床の充実により、地域医療機関との連携強化に努める必要がある。</p> <p>○市民の健康推進に関する取組として、市民生活部との連携により「健康講座」などの取り組みが必要である。</p>		

《項目別意見》

項目	自己評価	委員会評価	委員会の意見等
開放型病床の充実	一部達成	一部達成	○開放型病床の充実を図り、連携強化に向けた更なる病診連携・病病連携を図る必要がある。
救急医療の推進	一部達成	一部達成	○栗原中央病院の二次救急医療の充実を図るため早急に医師（循環器科・脳外科）招聘を図る必要がある。
リハビリテーションの充実	未達成	未達成	○早急にリハビリテーション科医師の招聘を図り、回復期リハビリテーションの施設基準と更なるリハビリの充実を図る必要がある。
診療科別・部門別の目標設定	一部達成	一部達成	○経営健全化計画に向けた目標設定と検証できるシステムを構築し、具体的な取組を行う必要がある。
患者満足度・ボランティア活動等	一部達成	一部達成	○病院の運営等について、公開に向けたホームページの充実や広報誌活動に積極的に取り組む必要がある。 また、病院のボランティア活動により市民から信頼される病院を目指す必要がある。

市立病院と老健施設との連携強化	一部達成	一部達成	○病院・診療所・老健施設等との情報交換の場を設置し、関係機関との連携強化を図る必要がある。
-----------------	------	------	---

経営の効率化

《事業分野評価》

委員会評価	未達成	自己評価：未達成
<p>○栗原中央病院の経常収支率が低い状況にあり、抜本的な解決策を講じる必要がある。</p> <p>【平成19年度栗原中央病院決算状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業収益は3,070百万円、そのうち入院・外来で2,734百万円。 1人当たり診療額（入院：28,090円・外来：6,552円）が低い。 ・病床利用率は69.4%（一般72.9%・療養47.9%）と低い。 <p>○二次救急医療を担っている栗原中央病院への繰入が少ないこと、減価償却費は、514百万円と多く経営を圧迫している。</p> <p>○医師招聘について、関係機関への働きかけを積極的に要請する必要がある</p>		

《項目別意見》

項目	自己評価	委員会評価	委員会の意見等
病床利用率の向上	未達成	未達成	<p>○平成19年度病床利用率は、中央69.4%、若柳91.7%、栗駒77.7%となっている。中央については、6ヶ病棟の運営となっており非効率である。従って1ヶ病棟を休棟するなど効率的な運用を図る必要がある。</p> <p>○医師の業務軽減を図るためクランクの導入を図る必要がある。</p> <p>○病床利用率の低い原因究明を図り、具体的な取組み目標を図る必要がある。</p> <p>○職員に対し、病床利用率向上の必要性について、説明する必要がある。</p>
人件費の見直し	未達成	未達成	<p>○定員適正化と合理化に努め人件費の適正化を図る必要がある。</p> <p>○看護師については、非常勤職員の積極的な導入を図るなど検討する必要がある。</p> <p>○効率的な看護師の配置や職員給与の抑制に</p>

			<p>に向けた取組みが必要である。</p> <p>○事務の病院専門職の確保を図る必要がある。</p>
経費・材料費の見直し	一部達成	一部達成	<p>○経費（委託費）について、削減に向けた具体的な取組みが必要である。</p> <p>○共同購入についての具体的な取組みが必要である。</p> <p>○委託費の総点検の実施を図る必要がある。</p>

施設・医療機器等の整備

《事業分野評価》

委員会評価	一部達成	自己評価：達成
<p>○病床数については、栗駒病院の病床数を110床 97床に減じ、13床分を栗原中央病院療養病床へ振替し、病床数277床 290床に増床した。</p> <p>○病床種別ごとの病床利用率を踏まえ、将来計画や方向性を設定する必要がある。</p>		

《項目別意見》

項目	自己評価	委員会評価	委員会の意見等
病床数の見直し	達成	一部達成	<p>○栗駒病院の病床数110床 97床に減じ、栗原中央病院へ振替し、機能強化を図った。</p> <p>○病床稼働率低下の要因分析が必要である。</p>
老朽化設備の更新	達成	達成	<p>○栗駒病院の建替に伴い老朽化設備の更新や省エネルギーに配慮した設備更新を計画した。</p>
アメニティ向上やバリアフリーの促進等	達成	達成	<p>○栗駒病院の建替に伴うアメニティやバリアフリー、プライバシーに配慮した整備計画となっている。</p>
医療機器整備計画の策定	一部達成	一部達成	<p>○費用対効果を踏まえた医療機器整備計画の策定が必要である。</p>

組織整備と人材育成
《事業分野評価》

委員会評価	一部達成	自己評価：未達成
<p>○栗原中央病院の救急医療の充実を踏まえ、循環器科・脳外科医師の招聘が必要である。特に管理型臨床研修指定病院には不可欠である。</p> <p>○地方公営企業法の一部適用から全部適用への移行により改善できたもの改善できないものを把握し、更なる取組みが必要である。</p> <p>○給与見直しなどの具体的な取組み内容が必要である。</p>		

《項目別意見》

項目	自己評価	委員会評価	委員会の意見等
診療科の見直し	達成	一部達成	<p>○栗駒病院の建替に伴う標榜診療科の見直しを行った。</p> <p>○若柳病院の標榜診療科麻酔科の廃止を行った。</p> <p>○栗原中央病院の循環器科・脳外科の標榜診療科を設置する必要がある。</p>
各種研修の充実	一部達成	一部達成	<p>○患者サービスに資するための接遇研修や職員のスキルアップを図るための研修等を実施している。</p> <p>○看護部門における院内教育関係に対する予算化と院外の継続研修が必要である。</p>
臨床研修の充実	一部達成	一部達成	<p>○管理型臨床研修指定病院の申請に向けた取組み及び院内体制整備の確立。</p> <p>○後期研修受入のための体制整備が必要である。</p> <p>○臨床研修医から選ばれる病院を目指す必要がある。</p>